

# 金城大学同窓会

《会報誌 第6号》 2012年11月発行号



《同窓会 開催報告》

《役員会報告会・懇親会 開催報告》

《同期会 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《学長メッセージ》

《大学行事報告》

平成23年度卒業式、平成24年度入学式、  
新入生歓迎会、新入生合宿研修、  
クラブ・同好会 リーダー研修会、卒業研究発表会、  
第37回金城祭

《トピックス》

医療健康学部作業療法学科開設(平成25年4月)、  
公開講座・社会福祉・医療健康講演会 開催報告 など

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会 開催報告、  
科学研究費助成事業採択状況 など

# 同窓会 開催報告

## 平成24年度役員会 開催報告

《第1回役員会 平成24年7月22日(日)》

【議題】

1. 前回役員会「平成23年6月19日(日)」議事録確認

2. 平成24年度同窓会役員会の改選について

3. 平成23年度事業報告・決算について

4. 平成24年度事業計画・予算について

5. 同窓会開催助成規程の改正について  
それぞれ議案書を確認し、いずれも全会一致で承認されました。

6. 総会の開催について

今年度も金城祭開催日に合わせて、10月20日(土)に、第1回総会及び懇親会を開催することが全会一致で承認されましたが、事業内容やスケジュールなど慎重な検討が必要との意見が多くあり、継続審議となりました。

7. 名簿の管理について

毎年1回郵送による確認を行うこととし、個人情報保護に基づく適正な管理体制の構築と、同窓生との連絡ツール確保の必要性・重要性について再確認がなされました。

8. その他

卒業生の施設利用について、引き続き会報誌やホームページなどを通じて、勉強会(自主ゼミ・研究会など)を実施できる環境を提供していきたいよう、支援体制を整備していくこととの確認がなされました。



《第2回役員会 平成24年9月7日(金)》

【議題】

1. 前回役員会「平成24年7月22日(日)」議事録確認

2. 金城大学同窓会 総会及び懇親会の開催について

前回役員会からの継続審議事項である総会及び懇親会の開催について、事務局からの提案をもとに、活発な討議がなされ、役員と事務局が連携を図りながら行っていくことが全会一致で承認されました。

2. 金城大学同窓会 委員の選出方法について

同窓会や同期会の開催・運営などに積極的に携わってもらえるような委員を選出組織作りをしていくため、第10期卒業生(平成25年3月卒業)からを対象として、次の通り選出方法を変更することの提案がなされました。

- (一) 卒業年次の各ゼミから代表者(同窓会委員候補)を1名選出する。
- (二) 代表者の中から会長が委員を若干名選出し、総会において選任する。
- (三) 委員とならなかった代表者は、同期会の企画・実施を担当する。

審議の結果、全会一致で承認されました。併せて、同窓会会則の改正についても全会一致で承認され、平成24年9月7日から施行することとされました。

3. 金城大学同窓会 設立10周年記念事業について

平成25年11月で、同窓会設立10周年を迎えるにあたり、平成26年4月から11月の期間にて「設立10周年記念事業」を開催することを検討していくこととし、今後、実施に向けたスケジュールや事業内容、企画などを継続的に審議していくことの確認がなされました。

## 予算・決算 (平成23年度決算・平成24年度予算)

一般会計 (単位:円)			一般会計 (単位:円)		
収入の部	平成23年度決算	平成24年度予算	支出の部	平成23年度決算	平成24年度予算
会費	4,820,000	5,140,000	会議費	63,436	700,000
利息	355	187	金城祭補助費	157,900	500,000
雑費	0	0	会報誌制作費	470,000	550,000
前年度繰越金	2,776,220	3,624,813	ホームページ制作費	126,000	150,000
合計	7,596,575	8,765,000	郵送費	352,942	500,000
			雑費	44,709	100,000
			会費戻金	180,000	200,000
			同期会開催助成金	76,775	500,000
			事務費負担金	500,000	500,000
			特別会計繰入金	2,000,000	3,000,000
			予備費	0	2,065,000
			合計	3,971,762	8,765,000
			次年度繰越金	3,624,813	—

特別会計 (単位:円)		
収入の部	平成23年度決算	平成24年度予算
特別会計繰入金	2,000,000	3,000,000
前年度繰越金	20,000,000	22,006,426
利息	6,426	—
合計	22,006,426	25,006,426

特別会計 (単位:円)		
支出の部	平成23年度決算	平成24年度予算
予備費	—	25,006,426
合計	—	25,006,426
次年度繰越金	22,006,426	—

## 平成24年度役員・委員

**会長** 濱田 陽介 (1期生)  
**副会長** 中野 雄介 (1期生)、河合 直人 (8期生)  
**会計監査** 園谷 準 (1期生)、上田 良和 (1期生)

**委員** 内島一憲 (1期生)、今村 裕子 (1期生)、紺 昇平 (2期生)、伊藤 恵里 (2期生)、久田 緑 (2期生)、寺井 紀裕 (3期生)、北平 玲子 (3期生)、田中 宏治 (3期生)、七野 澄麗 (3期生)、山下 和恵 (4期生)、安土 貴子 (4期生)、清水 敦子 (4期生)、庄田 紋子 (4期生)、高橋 志未 (4期生)、林 裕也 (4期生)、赤木 由未子 (5期生)、池上 実希 (5期生)、越村 知恵 (5期生)、松下 早希 (5期生)、岩城 涼子 (5期生)、辰田 沙弥香 (6期生)、中村 文香 (6期生)、花井 友美 (6期生)、早崎 久穂 (6期生)、大久保 朋美 (6期生)、西村 仁美 (6期生)、宮原 千夏子 (6期生)、高橋 孝明 (7期生)、中野 友博 (7期生)、土田 行美 (7期生)、西川 美香 (7期生)、荒木 友希 (7期生)、高橋 彩子 (7期生)、成川 千絵 (8期生)、竹田 圭佑 (8期生)、鷺田 恵 (8期生)、松浦 由依 (8期生)、澤田 竜之介 (8期生)、西谷 彰紘 (9期生)、倉 彩 (9期生)、濱 星美 (9期生)、藤川 諒也 (9期生)、岩田 めぐみ (9期生)、北村 允人 (9期生)、釧村 祐依 (9期生)

**幹事** 杉山 正樹、岡村 綾子、野口 雅弘、島原 徹、神谷 伸久、宮本 麻衣子

# 役員会報告会・懇親会 開催報告



懇親会の様子



濱田陽介会長



集合写真

10月20日(土)に、グランドホテル松任にて、「金城大学同窓会・役員会報告会・懇親会」が開催され、卒業生48名、教職員18名の出席がありました。今回は、参加者数の関係から、総会ではなく役員会報告会として実施しました。

はじめに、濱田陽介同窓会長(1期生)より日頃の同窓会運営への理解・協力に対し、謝辞が述べられました。引き続き、来賓を代表して永坂鉄夫副学長にご挨拶いただいたあと、事務局より先の役員会にて、審議、承認された事項について報告が行われました。(※詳細は、「平成24年度役員会開催報告」を参照)

引き続き行われた懇親会では、旧友や恩師たちとの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、同窓会役員が企画・進行してビンゴ大会などが行われ、景品の当選のたびに歓声が上がりました。

和やかな雰囲気にも包まれていました。最後に、記念として集合写真を撮影し、盛会のうちに終了しました。

当日は、ご多用の中ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

金城大学同窓会では、同窓生同士の有機的な繋がりを構築していきけるよう、特に同期会の助成に力を入れていきます。また、来春に10期生を輩出するにあたり、平成26年には、同窓会設立10周年記念として、盛大な催しなどを行いたいと計画しています。今後も積極的な事業を展開し、会員の皆様へも広くご案内できるように、名簿の整備に努めていきますので、趣旨をご理解の上、同窓会運営に更なるご支援ご協力をお願いいたします。

# 同期会 開催報告



「片麻痺の運動療法」講座 講師：奈良学長

9月15日(土)に、第2回金城大学医療健康学部卒業後研修セミナーと懇親会を開催しました。

研修セミナーは、金城大学にて奈良学長(医療健康学部長)による「片麻痺患者の運動療法」について実技での講座が行われ、臨床現場ですぐに実践できる内容でした。その後、場所をぶどうの木金沢フオーラス店に移し、懇親会が行われ、教員も参加し、盛大な会を開催することができました。

幹事：河合直人  
藤川諒也



懇親会の様子

## 8・9期生(医療健康学部1・2期生) 研修セミナー及び懇親会

### 同窓生活動 報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同期会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様態を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

# 各方面で活躍する同窓生

## 笑顔で子どもと接して 信頼関係を築く

大学卒業後、今年4月からみはる幼稚園（金沢市）で働いています。日中は元氣いっぱい子どもたちと一緒に歌い、絵を描き、外で遊び、子どもたちを送った後は保育日誌、明日の準備をこなすなど充実した日々を過ごしています。

小さな頃通っていた保育園の先生が大好きで、大人になった今でもほめられたことや叱られたことを鮮明に覚えているほどです。いつかは幼児教育に携わりたいことを夢見て勉強を続けてきました。

憧れの職業に就くことができたのは、金城大学で多くを学んだからです。熱心な先生や良い仲間と過ごす日々の中で、保育への考え方を深めることができました。

今も子どもを「楽しませること」よりも「一緒に楽しむこと」を意識しながら、日々の仕事に取り組んでいます。



劔村 祐依さん【学校法人みはる学園みはる幼稚園勤務】  
社会福祉学部 平成23年度卒業 9期生



個性の異なる子どもたちに、こちらの思いを伝える時は本当に苦勞します。それでも一人ひとりとじつくり向き合っており、園児や保護者の方たちと信頼関係を築くことができました。

時はうれいいですね。

私たちが思っている以上に、子どもは大人のことをよく見ていると気づかされることもあります。仕事で疲れていた私を励ましたかったのでしょか、ある日突然、子どもからいきなり好意を伝える手紙をもらったことがあります。涙が出るほどうれしかったですね。この手紙は私の宝物です。

これから仕事を続ける上で目指すべきイメージは明確に定まっています。きつと答えは無いのかなとも思っています。だから笑顔を保つために、教室でベストを尽くすことだけを心掛けています。年の近いスタッフも多く、職場の雰囲気は和やかです。先輩方からは「新人のうちに失敗しておけばいいよ」と温かい言葉を掛けていただいたこともあります。このような恵まれた環境で社会人のスタートを切れたことに大変満足しています。



## 個別に計画を立て 社会復帰を支援



藤川 諒也さん【金沢脳神経外科病院勤務】  
医療健康学部 平成23年度卒業 9期生

習得以外にも、実習やクラブ活動でさまざまな経験を積むことができました。他の施設で働く大学の同期と話していると、本当に刺激を受けま

すね。

憧れの職場で過ごす日々は、本当に充実しています。患者さんとコミュニケーションを取ることも楽しいですね。より良い信頼関係を築くため、医療側の意見や考えばかりを通すのではなく、必ず患者さんの想いを尊重するようにしています。

以前退院した患者さんが元氣な姿を見せてくれると、本当にうれいいです。まだまだ知識や経験が足りていないことは十分に自覚しているので、勤務終了後に、より良いリハビリテーションについて自分なりに考えることも欠かせません。そして先輩方にはいつもサポートしていただき、職場の勉強会も大変参考になっています。これからは患者さんとの関係を大切に、信頼されるような理学療法士を目指します。

勤務する病院では、主に脳血管疾患で片麻痺となった患者さんの急性期及び回復期リハビリテーションに携わり、その社会復帰を手伝っています。

理学療法士は関わる方々の生活に直接する仕事だと認識しています。だからこそ、治療の経過や回復具合、退院後の生活などを考慮し、一人ひとりに合った理学療法プログラムを進めることが大切です。

患者さんの中には入院した現状を受け入れられず、心理的にふさぎ込んでいる方も少なくありません。その場合は、いつも以上にこの治療が必要かを丁寧に説明し、前向きな気持ちで取り組んでもらうように努めています。

中学校の部活で怪我をして理学療法士にお世話になったから、将来の仕事として考え始めました。大学では専門的な知識の



# 学長メッセージ



金城大学 学長 奈良 勲

平成24年4月1日より  
金城大学学長に就任

鹿児島大学教育学部・米国ローマリンダ  
大学理学療法学部卒、医学博士（金沢大  
学）

金沢大学医療技術短期大学部・広島大学  
医学部・神戸学院大学教授・広島大学名  
誉教授

厚生大臣賞受賞・世界理学療法連盟国際  
賞受賞

ヒトとして「宿命的」に命を授かり、長い年月をかけて人から人間になつてゆくことが私たちの人生です。しかし、人生の過程は大小の判断の連続です。つまり、個々人の人生は基本的に自己決定によって、己の命を運ぶことと言えます。つまり「運命」です。誰しも、それぞれの価値観に応じて幸福な人生を送りたいと願う存在です。人類の起源は700万年程前といわれていますが、その過程で人間はホモ・サピエンスとして動物の中で最も高い知性・知恵を得て、多種多様な文化を築いてきました。しかし、同時に人間は真理を探究しながらも、善悪の狭間で葛藤することも多々あります。

自然界の摂理として野生の動物は弱肉強食でバランスが取れています。が、実はそれは人間社会でも繰り返されてきた歴史的現象でもありません。そこには、人間の権力志向と残忍性が潜んでいるからでしょう。とはいえ、人間には他者への愛情・慈愛・思いやりなど、他の動物には見られない

い尊い本性もあり、それがこれまで人間社会が崩壊してしまうことなく、温存されてきたゆえんでしょう。本学の社会福祉学部社会福祉学科には、社会福祉専攻（社会福祉、介護福祉、医療・福祉ビジネスコース）及び子ども専攻があります。医療健康学部には理学療法学科があります。設置する準備を進めています。

したがって、日本の高齢者人口の増加に伴う障がい構造の変化に因應するために、本学では高度でかつ幅広い知識と技術を有する人材の育成に真摯に努めています。しかし、対人サービス業としての保健・医療・福祉領域の専門家にとつて、心身の疾病に罹患し、社会的不適応に苦しむ人々をいかに全人的に捉えて支援するのか？との課題は、極めて難解なことです。よって、学生と教員間で、常に人間の存在性や幸福論などについても議論し、各自の専門家としての真髄を構築することを本学の教育哲学の基盤にしています。

保健・医療・福祉領域で活躍する専門家の育成  
——「学生と教員の人格のふれあい」——  
それが本学の教育哲学です

## 金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとられず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。
	教育理念	教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。

金城大学	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在養成
	目的及び使命	教育基本法および学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。（学則第1条）
	教育目標	社会福祉、保育及び幼児教育、また医療及び健康を担う総合力と旺盛な意欲、職場の即戦力につながる社会人の基礎、そして社会で幅広く活躍する積極性を身につけ、福祉の心を持ったエキスパートとして卒業生を社会に輩出する。

## 平成23年度 金城学園 財務概要

### 消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金	2,409,852
補助金	751,678
その他	176,310
基本金組入額	- 150,930
消費収入の部(合計)	3,186,910
消費支出の部	
科目	金額
人件費	2,088,372
教育研究経費	703,727
管理経費	423,476
その他	42,055
消費収入超過額	- 70,720
消費支出の部(合計)	3,186,910

### 貸借対照表

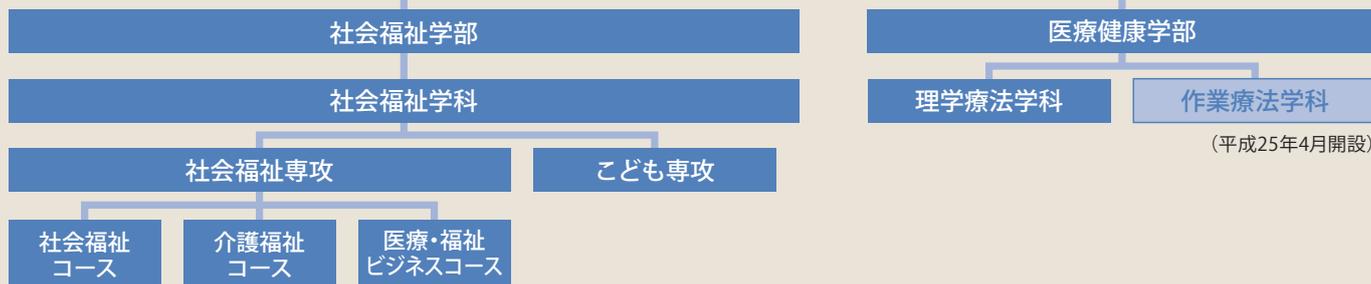
(単位:千円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	9,149,626
有形固定資産	8,664,348
その他の固定資産	485,278
流動資産	2,938,037
資産の部(合計)	12,087,663
負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額
固定負債	1,992,100
流動負債	709,663
基本金	11,258,049
消費収支差額	- 1,872,149
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,087,663

※ 詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp/>)をご覧ください。

# 平成24年度 金城大学 学部・学科構成 一覧

## 金城大学



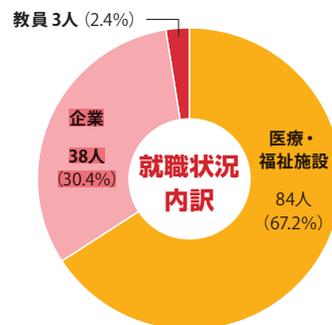
## 平成23年度卒業生の進路結果 (平成24年5月1日現在)

### 社会福祉学部

### 社会福祉専攻

※医療・福祉ビジネスコースは平成21年度設置のため、就職実績はありません。

職種	医療・福祉施設	企業	教員
介護職 64人	高齢者施設 51人	医療・福祉 13人	高等学校 3人
支援員・指導員 22人	障害者施設 22人	運輸業 1人	計 3人
相談援助職 4人	病院 8人	卸売・小売業 14人	
MSW 2人	社会福祉協議会 1人	サービス業 4人	
営業職 13人	保育園 2人	製造業 3人	
販売職 5人	計 84人	建設業 1人	
事務職 6人		漁業 1人	
製造・生産職 1人		その他 1人	
接客職 1人		計 38人	
運転手 1人			
教員 3人			
保育士 2人			
その他 1人			
計 125人			



**就職率 99.2%**

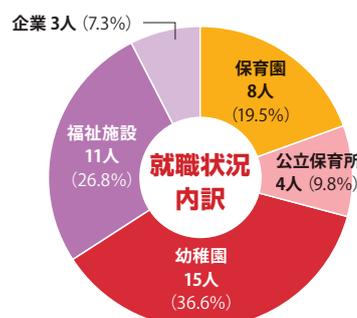
卒業生	130人
就職希望者	126人
就職者	125人
進学者	1人

就職率99.2%=  
就職者数125人÷就職希望者数126人×100

### 社会福祉学部

### こども専攻

職種	保育園・幼稚園・福祉施設	公務員	企業
保育士 12人	保育園 8人	公立保育所 4人	販売・小売業 2人
幼稚園教諭 15人	幼稚園 15人	(臨時1名含む)	情報通信業 1人
支援員・指導員 9人	児童養護施設 1人	計 4人	計 3人
MSW 1人	学童保育 1人		
介護職 1人	病院 1人		
販売職 3人	高齢者施設 1人		
計 41人	障害者施設 7人		
	計 34人		



**就職率 100%**

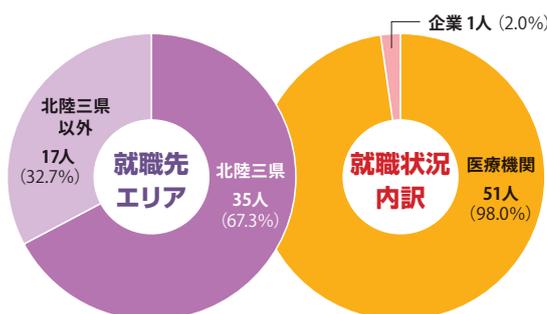
卒業生	42人
就職希望者	41人
就職者	41人
進学者	0人

就職率100%=  
就職者数41人÷就職希望者数41人×100

### 医療健康学部

### 理学療法学科

職種	医療機関	企業
理学療法士 51人	病院 51人	医療関係企業 1人
医療関係職 1人	計 51人	計 1人
計 52人		



**就職率 100%**

卒業生	58人
就職希望者	52人
就職者	52人
進学者	0人

就職率100%=  
就職者数52人÷就職希望者数52人×100

# 大学行事報告

## 平成23年度 卒業式

平成24年3月18日

3月18日(日)に、第9回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部172名、医療健康学部58名の卒業生が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤晃理事長が告辞を述べ、本田昂学長(3月31日退任)が「慈愛と思いやりの精神で人々の幸せに奉仕してほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、中島弘嗣さん(社会福祉学部)が答辞を述べました。

同日、会場をANAクラウンプラザホテル金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。今年度の卒業式は、平成25年3月18日(月)に白山市松任文化会館にて行われる予定です。



## 平成24年度 入学式

平成24年4月1日



4月1日(日)に、第13回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、社会福祉学部と医療健康学部の2学部263名が入学し、期待と希望を胸に大学生活をスタートしました。式では、加藤晃理事長が告辞を述べ、奈良勲学長(4月1日就任)が「能動的に真理、真実を探究する力を身につけてほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、新入生を代表して、大形美紗さん(社会福祉学部)が大学生活に向けて力強く宣誓しました。また、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

## 新入生歓迎会

平成24年4月7日

4月7日(土)に、新入生歓迎会が行われました。オリエンテーション期間を終えて、少しずつ大学生活に慣れてき

た新入生に、さらに本学に馴染んでもらおうと、学友会が中心となり毎年企画されています。ウォークラリーや、クラブ・同好会紹介では、実際に新入生に体験してもらうなど、それぞれ趣向を凝らした演出でアピールしました。また、恒例のプレゼント渡しでは、豪華景品が用意され、たいへん盛り上がりました。新入生は歓迎会を通して、先輩たちの温かさに触れ、金城大学の良さを体感できたようです。



## 新入生合宿研修

平成24年4月13日～15日

両学部合同の新入生合宿研修が、今年度もかんぼの郷白山尾口にて4月13日(金)～14日(土)、14日(土)～15日(日)の2班集体で行われました。毎年、学生生活に必要なマナーを身につける、大学生としての自覚と計画を持つ、異なる学部・専攻の学生や、教職員との親睦を図ることを目的に実施されています。レクリエーション、マナー講座、スポーツ大会、懇親会などを通じて、今後の大学生活の第一歩を踏み出すことができたことと思います。



## クラブ・同好会リーダー研修会

平成24年6月23日

6月23日(土)に、クラブ・同好会リーダー研修会が行われました。各団体の代表者が参加し、個人情報管理や、クラブ活動支援費申請などの説明会を実施し、「クラブ活動における心得」について相互理解を深めました。その後、日光アリーナにて交歓スポーツ大会が行われました。



## 卒業研究発表会

医療健康学部 平成24年10月6日  
社会福祉学部 平成24年12月～25年2月

医療健康学部は、10月6日(土)に学部全体で卒業研究発表会を行いました。大学生活での学習の集大成として研究成果を発表し、教員や在学生からさまざまな質問が投げかけられ、熱のこもった発表会となりました。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。



## 第37回金城祭

平成24年10月20日～21日

今年度は、「KINJOYS MILE」咲かせてみまっし太陽(えがお)の花をテーマに、第37回金城祭が10月20日(土)・21日(日)に開催されました。「DEEP」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベントなどの企画が実施されました。両日合わせて約150名の同窓生が来場し、また、地域の方々など多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。



## トピックス

## 医療健康学部作業療法学科開設 平成25年4月

平成25年度から医療健康学部  
に新たな学科として作業療法学  
科が開設されます。それに伴い、現  
在、医療健康学部棟の増設工事を  
行っています。完成は、12月下旬頃  
の予定です。



## 公開講座



4月28日から11月17日(各土  
曜日、全20講座)にかけ、今年度  
も短大部との共同事業として  
「金城大学公開講座」を実施し  
ました。大学・短大部の先生方  
による健康や生活に根付いた講義  
が行われ、地域の方々を中心に、  
多くの方が聴講されました。な  
お、平成25年度も同時期に実施  
を計画していますので、大学・短  
大部ホームページなどをご覧の  
上、是非ご参加ください。

## 社会福祉・医療健康講演会開催報告

北國新聞社との共催にて、  
一般の方を対象とした事業  
として「社会福祉講演会」、  
「医療健康講演会」が北國  
新聞会館(金沢市)にて開  
催されました。今年度は7  
月14日(土)に、森啓至教授  
(医療健康学部)による「か  
らだが知らせる病気のサイ



ン―嗅覚から脳の病気が見つかるか?―、9月15日(土)には、  
柴田紀子教授(社会福祉学部)  
による「毎日なんとなくつら  
いつてどういうこと?―援助の  
新しい考え方―」をテーマに開  
催し、多くの聴講者がありまし  
た。

第7回保健・医療・福祉創造フォーラム  
開催報告

11月4日(日)に、第7回保  
健・医療・福祉創造フォーラム  
(北國新聞社共催)が本学にて  
開催され、保健・医療・福祉の施  
設職員、一般、学生などが参加し  
ました。メインテーマを「福祉  
サービスの夢と使命―地域に活  
力を―」とし、松原良子氏(社  
会福祉法人福梅会 生活支援ハ  
ウスほたるの里 施設長)による  
基調講演「日々のエピソードを  
チャンスと捉え」が行われまし  
た。講演後には、医療・福祉ビジネス、介護福祉・社会福祉  
こども、医療健康の4分科会が開かれ、各分野から講師を  
招き、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

## ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースでは、地域の高齢者の方々との  
交流を通じたレクリエーション活動事業として「ゆうが  
く広場」を実施しています。また、理学療法学科では、白山  
市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシン  
トレーニング、健康体操などを学生と交流しながら行う  
健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」が実  
施されており、地域の方々からたいへんご好評をいただ

いています。活動状況などの詳細については、大学ホーム  
ページをご覧ください。



## 名誉学長・名誉教授の称号記授与式

4月10日(火)に、名誉学長・名誉教授の称号記授与式が  
举行され、3月末日に退任された本田昂前学長には名誉学  
長の称号記が、岡田茂前学長特別補佐には名誉教授の称号  
記がそれぞれ加藤理事長から授与されました。



## 退任教職員のご案内

医療健康学部の本田昂学長(教授)、社会福祉学部の岡田  
茂学長特別補佐(教授)、大沼直樹教授、春名麻季講師及び  
事務職員の本田博茂法人本部事務室担当部長、林俊明法  
人本部企画室参与、庄村隆さん(管財部)が3月末で退任  
されました。

## 研究・教育活動報告

## 研究活動成果報告会 開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、今年度も金城祭にて、研究活動成果報告会（平成23年度交付者による報告）を行いました。平成24年度の発表者は左記の通りです。また、科学研究費助成事業採択者から瀬戸就一教授（短大部）、新井浩准教授（短大部）も発表を行いました。

## ① 寺尾研二 准教授（医療健康学部）

「本学における臨床実習について―臨床実習体験表を通じて―」

## ② 佐々木賢太郎 准教授（医療健康学部）

「頸部呼吸補助筋の筋活動量から換気性作業閾値を予測することは可能か？」

## ③ 神谷晃央 講師（医療健康学部）

「人工股関節置換術前後における姿勢の変化について」  
「第13回国際複合環境要因学会（ICCEF2011）での口頭発表報告」

## ④ 木村剛 助教（社会福祉学部）

「認知力が歩行動作に与える影響の解析」

## ⑤ 内慶瑞 准教授・大友順治 教授（社会福祉学部）

「学生ボランティア活動の実態と課題（その2）―大学ボランティアセンター開設に向けての基礎資料の収集―」

## ⑥ 田中克恵 准教授（社会福祉学部）

「高齢者の転倒予防のためのフットケアに関する研究」



## ⑦ 小島聖 講師（医療健康学部）

「足趾筋力と足底重心軌跡との関係性」

## ⑧ 野口雅弘 講師（医療健康学部）

「第13回国際複合環境要因学会（ICCEF2011）での口頭発表報告」

## ⑨ 杉森公一 助教（医療健康学部）

「第52回サニベルシンポジウムでのポスター発表報告」

## 科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成24年度の採択・交付者は左記の通りです。

## ① 田中克恵 准教授（社会福祉学部）

「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」

## ② 川邊弘之 教授（社会福祉学部）

「聴覚障害学生のための聴講支援システム―「質より量」のアプローチによる音声認識―」

## ③ 永井将太 准教授（医療健康学部）

「回復期脳卒中患者のADL訓練用クリニカルパスの作成とその効果検証に関する研究」

## ④ 永原朗子 教授（社会福祉学部）

「批判的リテラシーを育む福祉科教育における問題解決学習プログラムの開発」

## ⑤ 元村智明 講師（社会福祉学部）

「戦前石川県下の公共性の論議形成と共同性確保に関する研究―経済保護事業を中心に―」

## ⑥ 瀬戸就一 教授（短大部）

「聴覚障害学生に教員の熱意を伝える感情フォントシステムの開発」

## ⑦ 新井浩 准教授（短大部）

「大学教員の教授力向上のための自己訓練システム」

## 「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」状況報告

下村有子教授（社会福祉学部）の研究「視野障害者自立支援がねの社会実装」が、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」実装支援プロジェクトに採択され、現在、視野狭窄、半盲、暗点などの視野障害をもった方に視野を拡張するめがねを使用してもらうことで、日常生活の自立を支援しようと、研究開発が進められています。研究開発期間は平成23年10月から平成26年9月までの3年間です。

## 「平成24年度 調査研究助成事業」

松浦万里子教授（社会福祉学部）の研究「安定的施設経営と教育育成システムに関する研究―中堅職員の育成と科学的介護の構築を目指す研修システムを中心に―」が、公益社団法人全国老人福祉施設協議会の「調査研究助成事業」に採択されました。研究期間は平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間です。

## 「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム状況報告

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択され、「早期に「社会人力」基盤を確立するキャリア教育」をテーマに、平成21年度から3年間にわたり実施しました。取組・成果を生かし、継続して就職・各種資格支援等、在学生のキャリア教育・支援体制を強化し、「社会人力」向上を目指しています。



## 卒業後の証明書交付について

原則として、申し込み及び受け取りは、窓口または郵送のみの取り扱いとなります。

(※FAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。ご不明な点は電話にてお問い合わせください。)

### ○卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料/1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に必要免許種類を明記のこと)

\*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。

\*上記以外のものは申し込み前に、教務部までお問い合わせください。

(\*1)社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

### ○窓口申し込み

身分証(免許証など生年月日の分かるもの)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入し、代金をあわせてお支払いください。

身分証を提示できない方からの申請は受け付けることができません。

受け取りの際は、事前に発行済みであることを確認の上、身分証(免許証など生年月日の分かるもの)を必ず持参してください。

代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

### ○郵送申し込み

下記のを大学事務局<申し込み先>宛に送付してください。

1. 証明書手数料分の切手
2. 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号) \*定形外郵便料金+簡易書留分300円、郵送料分切手を貼付け済み。
3. 必要事項(※下記参照)を記載した書類(自由様式)

#### <<記入必要事項>>

1. 氏名・生年月日
2. 入学及び卒業の年月
3. 学籍番号(わかれば記載願います)
4. 請求証明書名と必要部数
5. 提出先(必要部数毎に明記してください)
6. 必要理由(理由によって様式が異なる場合があります)
7. 連絡先(昼間連絡可能な電話番号)

#### <<申し込み先>>

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200  
金城大学 教務部 Tel: 076-276-4400(代)

\*記載事項に不備のあるものについては、受け付けることができませんので、ご了承ください。

#### <<返信用定形外封筒の郵送料金(参考)>>

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+300円)	速達郵便 (+270円)
証明書3通まで	420円	690円
証明書5通まで	440円	710円

\*上記料金は2012.3.1現在のものです。

\*原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内に発送します。また、お急ぎの場合は往復とも速達(+270円)にしてください。

\*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

### ○注意事項

- 原則作成までに3日(土日、祝日は除く)かかりますので、できるだけ余裕を持ってお申し込みください。
- 進学の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

## 卒業生の施設利用

卒業生の皆さんも図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館までご連絡(076-276-4412)ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間は在学生と同様です。また、卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。



### 同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第6号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。

同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。住所や氏名が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営以外の目的で使用いたしません。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくご願ひいたします。

### 大学案内・募集要項

#### 《入試広報部》

フリーダイヤル	0120-276-150
TEL	076-276-5175(直通)
FAX	076-275-4316
E-mail	daigaku@kinjo.ac.jp